

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 31 日

事業所名 レジリエンス・スポーツセンター 回答数:9名 回答率:100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じては部屋を狭く感じる時もあるが、その子に応じたレッスン対応はしていると思われる(宮城公園などの利用など) ・同室レッスンを取り入れて工夫している ・放課後の枠を同室&ペアレッスンにしたり出来る限り、ご予約できるようにしている。 ・毎回同じ部屋でレッスンをしない、相性の良し悪しも考慮していること 	
	2	職員の配置数は適切である	3	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人につき、レッスンを行うものと記録を打つものに分かれて連携している点が良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイトでもいいから、まずは人の確保をしないとイケないと思われる。 ・スタッフの人数がもう少し増えるといいなと感じる。職員数が足りない。 <p>→引き続き職員を募集しサポート体制を充実できるようにしていきます。現在、色々な方法で募集をかけています。</p>
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・できる範囲のことはしていると思う。建物の構造上バリアフリー化が難しい部分がある。 	<p>ここ最近、駐車場でのトラブルがあるので、広くなるといいな。</p> <p>→車の入れ替えがスムーズになるよう、時間にゆとりを持ってレッスン終了できるように心がけて参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スロープの導入やレッスン室入口のスペース確保、段差解消などを改善していければ ・雨が降ると地面が滑るので転びそうで怖い。 ・エレベーターや手すりは設置されているが、古い建物なので段差はある。 <p>→建物の構造上難しい部分もありますが、安全に子どもたちが通所できるようにできる限り改善していきます。</p> <p>また、段差や地面は滑り止めなどに加え、見送り時の見守りや必要に応じて昇降の補助を行います。</p>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・センターミーティングの際の話し合いなど ・定期的にミーティングを実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスンに関してはチューター制度で幅広く職員が取り組んでいる(気がする)が、業務分掌の業務に関してはPDCAサイクルの導入が難しい。 <p>→職員間でチューター制度を実施し、定期的にミーティングで振り返りを行っています。今後は更にPDCAサイクルを意識した業務改善を意識して取り組んでいきます。</p>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・サブの人間にも利用者様の特性・注意点が確認しやすく記載されている ・保護者懇談会や集団レッスン等においてアンケートを実施し、内容に応じて今後につながるよう尽力されている。 	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部委託でHPIに掲載されるようになっていく 	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		4	0	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの実施 第三者を「利用児の保護者」と捉えるならできていると思う。1・2を「従業員」と「利用児及びその保護者」と取るならできてないかも。 	現在、既に第三者委員会を設置しており、苦情解決の助言役を担っていただいております。ただし、外部評価についてはまだ受けていないため、今後は実現していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		0	0	<ul style="list-style-type: none"> 研修など充実している。 社内研修を定期的に開催している 月に1度様々な内容で充実した研修がなされている。調整している職員ありがとう。 	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		0	0	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントの内容もわかりやすく細分化されていて、その内容がしっかり反映されたスーパーわかりやすい支援計画が作成されている。児発管が有能すぎてすばらしい。 	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		0	0	<ul style="list-style-type: none"> Excelを活用 	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		1	2	<ul style="list-style-type: none"> 社員1人一人が個々の意見を汲み取りながら活動している 大まかな支援の内容は支援計画により指定されているが、どのように、どのくらい、どんな場面で、その活動内容で、などの細かい部分は職員個人に任されている。 	支援の提供形態や他の業務との関係上、「チームとしてプログラムの立案」はかなり難しいと思う。 →報連相を大事にして、個人の支援ではなく、チームとしての支援にしていこう。チームとしての話し合いを増やしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		0	0	<ul style="list-style-type: none"> 良ければ新しいプログラムをすぐに導入する 記録等で活動内容の共有がスムーズに行われているため、レッスンに入る一スタッフの裁量によりけりだが固定化されないよう工夫がされている 	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2		5	2	<ul style="list-style-type: none"> バイトの人達が働く曜日・時間帯など希望に応じてもらえる 具体的支援の内容に関しては平日や休日などの短期的に変化する社会的環境に応じた内容の記載はないと思う。現場での支援に関しては、時折の状況に応じて臨機応変に課題を設定できていると思う。 	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		1	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用者同士の相性やレベルを考慮したレッスンをしている 	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		2	2	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で連携が取れるようにコミュニケーションを密にしていきたい(自身) 前回の問題点など、各担当者達がレッスンに入る前にお互い共有している レッスンに関しては完全にレッスンに入るスタッフに一任されているので、「必ず」ではない。 		

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスン中の改善点や課題を細かく記録している ・個人的には自分がレッスンメインの時には振り返りするよう心がけているが、サブの時にはできていないことが多い。他のスタッフに関しては必ず振り返りするスタッフとそうでないスタッフとが見受けられる。→全職員、しっかりと振り返りをするように時間を作っていきたいと思います。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスン時その場で記録を取っている点。 ・記録にコーチとサブコーチの別目線で感じたことを、それぞれ記録している
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に社内で共有した支援計画を作り、保護者達にしっかりと伝えている
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	6		3	0	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	3	1	・会議やモニタリングなどをもとに、各関係者さんと連携できるように話をしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	6	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	4	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	5	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	5	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	2	・サッカースクール、バスケスクール、サークル活動を実施しています。兄弟児さんも多く参加していただいています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	7	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0	・レッスンは毎回保護者さんが同席なので、お話ししながらレッスンしています。 ・月1回、テーマを決めて保護者懇談会を実施しています。 ・レッスン時やレッスンを終了してから親御さんとお子様の生活などの話をする機会を作っている。 ・レッスン後に、現在できていることや今後の課題を共有している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	2	0	・ペアレントトレーニングは開催していませんが、月1回保護者懇談会を開催しています。 ・保護者懇談会や教室などを定期的に実施している	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	2	0			
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	0			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回テーマを決めて保護者懇談会を実施しています。 ・コロナにより、オンラインでの参加も可能になり、多くの方のご参加していただけたかなと思います。 ・定期的に子育ての悩みについてのセミナーを開催している。 ・オンラインなどを活用している 	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・責任者が直接・文面に対応している 	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体から、LINEでの報告に変更しました。 ・SNSやチラシを活用し情報共有している 	
	35	個人情報に十分注意している	8	1	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その子の特性に応じた伝え方を社員同士で共有して対応している 	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度初めてですが、10周年祭りとしてイベントを開催いたしました！ ・地域施設を利用し、多くの方にご来場していただきました。 	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	5	0	・マニュアルを作成している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	定期的開催	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	4	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	1	・医師の指示書はないですが、保護者さんのその都度確認させてもらってます。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	0	・問題点があればその都度共有している	